

財団法人つくば都市振興財団

[法人の概要]

平成17年7月1日現在

代表者名	理事長 鈴木 宏(常勤)	所管部(局)課	企画部 新線・つくば調整課	
所在地	茨城県つくば市竹園1-10-1	電話番号	029-856-7007	
ホームページURL	http://tsukubacity.or.jp	E-mailアドレス	zaidan@tsukubacity.or.jp	
資本金(基本財産)	597,600 千円	設立年月日	平成3年3月25日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	つくば市	425,000 千円	71.1 %
	2	茨城県	100,000 千円	16.7 %
	3	筑波都市整備株式会社	13,000 千円	2.2 %
	4	財団法人つくば科学万博記念財団	10,000 千円	1.7 %
	5	株式会社常陽銀行	10,000 千円	1.7 %
その他	64 団体	39,600 千円	6.6 %	
設 立 目 的	筑波研究学園都市の振興・発展を目指して、地域情報の収集提供や芸術・文化の振興活動、さらに在住外国人に対する支援活動等を行うことにより、住民の豊かで魅力ある都市生活の向上に寄与する。			

[事業の概要]

事業名	平成17年度事業費	内 容
事業1 芸術・文化振興事業	101,424 千円	「つくば国際音楽祭」をはじめ、行政補完事業の位置づけのもと、年間を通じて市内公共ホールを会場に、演劇、舞踊、音楽等の舞台芸術作品の提供(招へい公演)を中心に、市民企画助成、ワークショップなど市民参加型事業を平行して実施。新たな文化芸術の創造と豊かな地域文化を醸成し、市民生活の向上に寄与する。
事業2 文化・情報施設の管理運営事業	202,300 千円	つくばカピオ・ノバホールの管理運営及びつくば文化会館アルスの管理を実施。文化、スポーツ、生涯学習の拠点として、安全・快適な施設を提供し、住民生活の向上に寄与する。
事業3 国際交流事業	6,027 千円	国際交流フェア、国際交流料理教室、日本文化体験バスツアー、国際交流ボランティア育成及び登録、外国語講座、日本語講座、国際理解推進、ちびっこ英語の広場各事業を実施。国際都市つくばにおける外国人支援、国際交流を推進する。

[組織]

7月1日現在の人数	年度	平成15年			平成16年			平成17年						
		県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB					
役員	常勤理事	2	0	0	2	0	0	2	0	0				
	非常勤理事	11	0	1	11	0	1	11	0	1				
	常勤監事	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	非常勤監事	2	0	0	2	0	0	2	0	0				
	計	15	0	1	15	0	1	15	0	1				
職員	管理職	2	0	0	2	0	0	2	0	0				
	一般職	18	0	0	18	0	0	18	0	0				
	臨時職員	2	0	0	2	0	0	2	0	0				
	嘱託職員	1	0	0	1	0	0	1	0	0				
	計	23	0	0	23	0	0	23	0	0				
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	2	30代	9	40代	7	50代以上	5	合計	23	平均年齢	42歳 6月	平均勤続年数	6年 1月

[収支の状況]

財団法人つくば都市振興財団

(単位:千円)

区 分		平成14年度	平成15年度	平成16年度
収 支 の 状 況	収入合計	397,078	391,803	396,913
	事業収入	246,031	247,150	255,362
	事業外収入	151,047	144,653	141,551
	支出合計	386,588	393,098	394,056
	事業支出	313,250	317,203	316,363
	事業外支出	73,338	75,895	77,693
	うち管理費	111,341	113,774	124,242
	うち人件費	107,437	108,296	112,807
	当期収支差額	10,490	-1,295	2,857
	正味財産増加額	884	2,502	2,867
	正味財産減少額	1,908	2,972	2,246
	当期正味財産増減額	9,466	-1,765	3,478
	前期繰越正味財産	638,386	647,852	646,087
期末正味財産	647,852	646,087	649,565	
財 産 の 状 況	資産	703,114	698,119	700,480
	流動資産	88,908	83,421	83,989
	固定資産	614,206	614,698	616,491
	負債	55,261	52,031	50,915
	流動負債	50,189	45,998	43,709
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	5,072	6,033	7,206
	うち長期借入金	0	0	0
正味財産	647,853	646,088	649,565	

[財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成14年度	平成15年度	平成16年度
財 的 関 与 状 況	補助金	0	0	0
	委託金	2,770	2,631	2,748
	貸付金			
	計	2,770	2,631	2,748
	財政的関与の割合(%)	1%	1%	1%
	損失補償・債務保証			

[平成16年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	
委託金	茨城県近代美術館つくば分館の企画展開催時の夜間警備業務を受託。高価な美術品の破損、盗難防止に万全を図り、企画展の運営をサポートする。
貸付金	

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	7	8	87.5%
目的適合性	5	0	14	0.0%
組織運営の適正性	4	6	8	75.0%
健全性	11	14	40	35.0%
効率性	9	3	32	9.4%
合計	33	30	102	29.4%

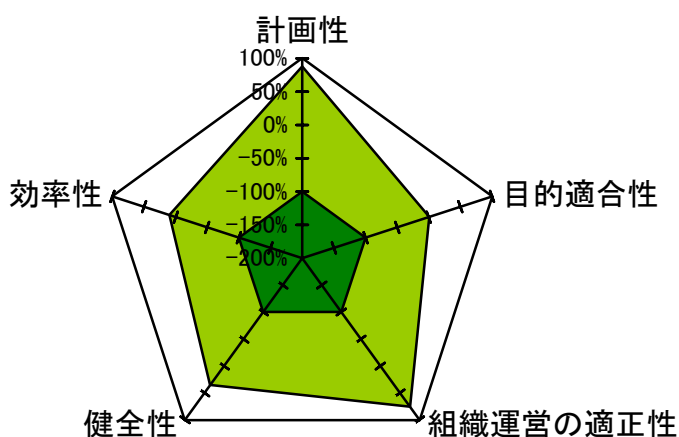
公益法人会計用

財団法人つくば都市振興財団

警戒指標

--

経営評価レーダーチャート



《評価の視点》

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題, 対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
平成17年度事業において、国際交流、芸術文化、文化施設についてのアンケート調査を予定している。今後の中長期計画策定・財団運営の基礎となる情報の収集に努める。	税法上、収益事業比率は高くなっているが、設立目的に沿った事業展開を図っており、今後、つくばエクスプレス開業後は、当財団の果す役割はますます大きくなると思われる事業の充実を図る必要がある。	情報公開規則の整備、ホームページ上での財務情報の公開について早期実現に向け検討する。	採算性重視の事業も積極的に採り入れ、収益の増加に努めるとともに、効率のよい事業展開を図り収支比率の健全化に努める。	管理費の支出状況を分析し、効率的な支出に努め経費の削減を図る。
今後の事業展開の方向	現在の低金利下では基本財産運用収入の増収は望めず、また、収支比率の面からも事業収入の増収が必要である。つくばエクスプレス開業後、多様化が予想される住民ニーズを的確に捉え、集客力、採算性をこれまで以上に考慮し事業展開を図りたい。また、平成18年度の指定管理者制度移行もあり、更なる企画力・サービスの充実を図りつつ管理費の削減に努め効率的な運営を図る必要がある。			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
本年度予定されているアンケート調査をもとに、具体的な数値目標を掲げた中長期計画を策定する必要がある。	住民ニーズを的確に捉え、芸術・文化の振興及び国際交流の活性化という設立目的に沿った事業を効果的に実施する必要がある。	情報公開規則を整備し、財務情報等についてホームページ等にて積極的に公開する必要がある。	芸術・文化活動の振興事業や国際交流事業など収益を蓄積できる事業ではないが、採算性にも配慮した事業展開を行う必要がある。	管理費について、各項目ごとに内容を分析し、効率的な支出に努める必要がある。
第三次行財政改革大綱に係る取組状況		推進事項	取組み状況	
法人担当課の意見		筑波研究学園都市における芸術・文化活動の振興、在住外国人に対する支援は、研究環境のソフト面の充実を図り、都市の魅力を高めるものである。また、つくばエクスプレスの開業により、都市化、国際化が一層促進され、その役割はますます重要になっていくと思われる。引き続き、住民ニーズを的確に把握し、効率的な経営に努めるとともに、指定管理者制度の導入にあたり、さらなる企画力の充実、サービスの向上を図る必要がある。		

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">健全性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">緊急の改善措置が必要</div> </div> <p>低金利の長期化に伴う基本財産運用収入の減少や「つくば市」の補助金・委託金の減額が見込まれることから、自主財源の確保や更なる経費の削減に努め、効率的な運営に心がけられたい。</p> <p>また、指定管理者制度への移行に伴うつくば市の文化施設等の管理受託に関しては、制度変更の趣旨を踏まえ企画力の充実や住民サービスの向上等に引き続き努められたい。</p>
総合的所見等に係る対応	<p>基本財産運用収入の減少や補助金・委託金の減額が見込まれることから、マンネリ化した事業を見直し、集客・採算のあった事業展開を図るとともに、経費削減など効率的な運営を図るよう指導していく。</p> <p>また指定管理者制度への移行に際しては、競争に耐えうる企画力・サービスの質の向上を図るよう指導していく。</p>

< 財団法人つくば都市振興財団 から県民のみなさまへ >

つくばエクスプレスの開業、指定管理者制度の導入を契機に更なる文化・芸術の充実、並びに施設利用者に対するサービスの向上を目指すとともに、常に収支バランス、コストの節減を心がけ、最小の経費で最大の効果を図っていくよう努力してまいります。

平成18年2月 理事長 鈴木 宏